

包装方法

- 1) 包装物を作業台の上に置きフィルムを引き出し、包装物の上に覆いかぶせます。
- 2) フィルムの端を包装物の下端まで巻き込み、包装物と一緒に手前に引き、下に押し下げてカッター刃でフィルムを切断します。
- 3) フィルムの両端を手で引っ張りながら包装物の下に押し付けて、包装物を熱盤に押し付け溶着します。

ご使用上の注意



- 1) 絶対に濡れた手で操作をしないでください。(感電する危険があります)
- 2) 絶対に、電源コードをコンセントに接続したまま水をかけないでください。
水がかかった機械は完全に乾燥させてから電源コードをコンセントに接続してください。(感電する危険があります)
- 3) 作業終了後は必ずスイッチを切り、電源コードをコンセントから外してください。
- 4) ご自分で修理したり、改造、分解をしないでください。修理の場合は販売店にご依頼願います。
- 5) コンロ等、熱の発生源となる物からは、機械を離して置いてお使いください。
- 6) 直接機械に冷風が当たったり、寒冷な環境でお使いになりますとフィルムが切れ難くなったり、熱盤の温度が所定の温度まで上がらなくなったりします。
- 7) フィルムを装着したまま、持ち運ばないようにしてください。
- 8) 本品は単相 100V 50-60Hz でご使用ください。

お手入れのしかた

- 1) カッター刃とテンションの間にゴミが落ちていたら、取り除いてください。
- 2) カッター刃や熱盤の上は雑巾などできれいに拭いてください。



取扱説明書



U型



B型

このたびは、アスパル ポリラッパーをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

もくじ

特徴	2
フィルムの通し方	2
ご使用方法	2
包装方法	4
ご使用上の注意	4
お手入れの仕方	4

朝日産業株式会社

特徴

- 1) アスパル電子サーモ
アスパル電子サーモを採用し、今までのサーモスタット方式と比較し比べ物にならないほど温度が安定しました。
- 2) ポリ用熱盤、カッター刃
ポリオレフィンの熱特性に合わせた形状とテフロンコーティングを採用し、確実な溶着とフィルムかすの残らない使い易さを実現しました。

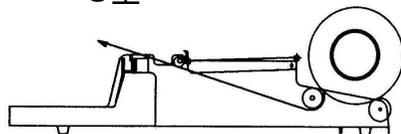
フィルムの通し方

- 1) フィルムを載せる2本のローラーのうち、手前のローラーの下を通して手前に引き出します。

2) 図1-(1) U型

作業台手前のローラーの下側を通らせてフィルムを引き出します。

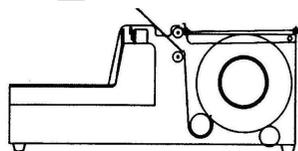
図1-(1) U型



3) 図1-(2) B型

作業台手前に縦に2本取り付けられているローラーの間を通して、フィルムを引き出します。

図1-(2) B型



ご使用方法

1) 各部の点検

機械の各部の部品が外れかかっていたり、ビスやナットが緩んでいないか、ローラーの動きがスムーズに動くか点検をしてください。

- ⚠️ ビスやナットの緩みはドライバー等で締め付け、部品の不足や作動の不良は修理に出してください。

2) ブレーキ調整

フィルムを引き出した時に、フィルムが回り過ぎてローラーに巻きついたりする事があります。そうした時に、図2のストッパーを締め、ブレーキつまみを締め付けて調整をしてください。調整後は、ブレーキつまみが緩まないようにストッパーを締め付けて固定します。

図2



3) 電源の入れ方

電源コードのプラグをコンセントに入れ、図3のメインスイッチをONの方に倒してメインスイッチ内部のパilotランプが点灯することを確認してください。

図3



- ⚠️ ・パイロットランプが点灯しない場合はコンセントに通電しているかを確認してください。
- ・コンセントに異常のある場合は修理にお出してください。

4) 熱盤の温度調節

カッター刃や熱盤が使用可能になるまで、数分間お待ちください。フィルム試し切りして使用可能になった事を判断してください。

熱盤は図3の電子サーモの温度調節つまみを回し、必要な温度に調整してお使いください。つまみを最も弱い位置まで回しますと、熱盤の温度はほとんど上がりません。必要以上に温度を上げますとヒーターの寿命が短くなります。

- ⚠️ 絶対にカッター刃や熱盤に直接触れないでください。また本体の前縁部やステンレス部分も温度が上がりますので、直接触れると火傷の原因になります。